

開催案内

マンスリーセミナー

425 回	10/23 (火)	将来アクセスネットワーク用光部品の技術動向と課題	日本電信電話株式会社 NTTアクセスサービスシステム研究所 光アクセス基盤プロジェクト 主任研究員 浅香 航太 氏
(内容) 将来光アクセスネットワークは、これまでの FTTH サービスに加え、ビジネスやモバイルサービスなど様々なサービスの収容を実現することが期待されている。近年標準化が完了した NG-PON2 は、波長分割多重技術を導入することにより、多様なサービスに対応できるだけでなく、宅内装置への割当波長を変更することでシステムの効率的な運用および高信頼性化が期待できる。本講演では、NG-PON2 の特徴、主な仕様およびユースケースについて紹介すると共に、光部品への要求条件・市場動向および技術的な課題について概説する。			
426 回	11/20 (火)	8Kスーパーハイビジョン放送の技術	日本放送協会 NHK放送技術研究所 新機能デバイス研究部 上級研究員 石井 紀彦 氏
(内容) 2018年12月1日に4K・8Kスーパーハイビジョンの本放送が始まる。視聴者が8Kスーパーハイビジョン放送を見たとき、大きな特徴として感じるのは、解像度、階調、フレーム周波数、色域、ダイナミックレンジ、音響の6つの主要要素である。しかし、実際に放送するためには、これらの6つの主要要素だけではなく、様々な周辺技術の研究開発が必要であった。1995年以来NHKが進めてきた、上記6つの主要要素技術と放送に不可欠なそれに付随する周辺技術の研究開発について紹介する。			
427 回	12/18 (火)	自動運転のためのライダーと 画像のフュージョンによる環境認識手法	芝浦工業大学 システム理工学部 機械制御システム学科 教授 伊東 敏夫 氏
(内容) ライダーは自動運転のための本命環境認識センサーと思われる。しかし、ライダーにも課題があるため、ライダーの改良と他センサーによる補償が必要となる。そこで本講では、自動運転に向けた環境認識用センサーとしてのライダーの特性と期待、また課題を述べ、ライダーの改良の話題、及び画像のフュージョンによる環境認識手法について講演する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時 間：午後3時30分～5時30分
定 員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
申込先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp